

令和元年度 大通地区コミュニティ懇談会

◆開催日時：令和元年7月28日（日） 13:30~16:00

◆開催場所：大通地域生活センター 1F ホール



〈質疑概要〉

避難所数について

発言： 大通地区の人口の割には避難所の数も収容できる能力も少ないのでは。

回答： 避難所は指定された所以外でも、どこに行っても構いません。不足の状況になった時は、この避難所に行ってくださいという指示はさせていただきますが、一番大事なのは、災害時は一次避難所に避難をして命を守っていただくことです。皆さんから要望があれば、企業等との仲立ちとして、一時避難できる場所を用意できるように調整させていただきます。

福祉避難所について

発言： 災害時要援護者は何処へ避難，誘導すればいいのか。病院や介護施設のような福祉避難所を充実してもらいたい。

回答： 白根健康福祉センターを福祉的避難所，味方デイサービスセンターを福祉避難所としておりますので、動けない方や車椅子の方などの命を守ってもらうことが第一ですので、一時的にそこに誘導していただきたいと思えます。

避難施設の建設について

発言： 将来的に避難所として、行政施設を統合した高層化の建物を作ることも非常に重要ではないか。

回答： 新たな施設をつくることは今の所考えていません。民間の施設も避難所に十分なり得ますし、今ある施設を有効利用する形でいかないと私はダメだと思います。もし、新しい施設を造るような状況になれば、計画の段階でコミ協さん、皆さんと協議させていただきたいと思えます。

災害時の伝達について

発言： 区が広報活動をするといっても、何か起きた時にどこに行っていいいのか分からない。誰が中心になって夜遅くても、就寝中であろうが、人を助けるか聞かせてほしい。

回答： 私が防災訓練の提案をしているのは、災害時は伝達が必要となり、自治会やコミ協さんが主体となって伝達訓練をしていただきたいためです。できるだけ多くの方々から参加いただきたい。

避難情報の周知について

発言： 避難情報の警戒レベルが変わったが、具体的にもっと説明して住民に周知徹底する方法を考えてもらいたい。

回答： ホームページや市報で周知していますが、全市的なチラシ配布は考えていません。防災士の方々

を通じてしっかりとお伝えしたいと思います。

水害対策について（堤防，船）

発言： 中ノ口川の堤防の強化対策状況と川の水害対策に船の保有状況はどうなっているか。

回答： 中ノ口川の堤防は、ほぼ完成形に近づいています。河道掘削や流量対策にも取り組んでいます。船の件は南消防署に確認し、後でお伝えしたいと思います。

今後のバス運行について

発言： 区バスの今後の運用と運行についての考えを聞かせてほしい。

回答： 高齢化率が上がると買い物や病院に行けなくなる人が出てくるかもしれません。大通の思いやりネットを充実させてバスの代わりとなる買物支援は大事な部分と思っています。南区のバス交通については、創生会議で今年1年かけてどういうバス交通が一番効果的かをシミュレーションします。

発言： 利用する人のアンケートやシミュレーションを取らないと難しいと思う。区バスをイベントやツアーに活用する企画もしてみてもどうか。

回答： シミュレーションしていくなかで現行の運行，それが本当にいいのかどうかを検討していきたいと思っています。二次交通としてバスを使えるのか検討させていただきます。